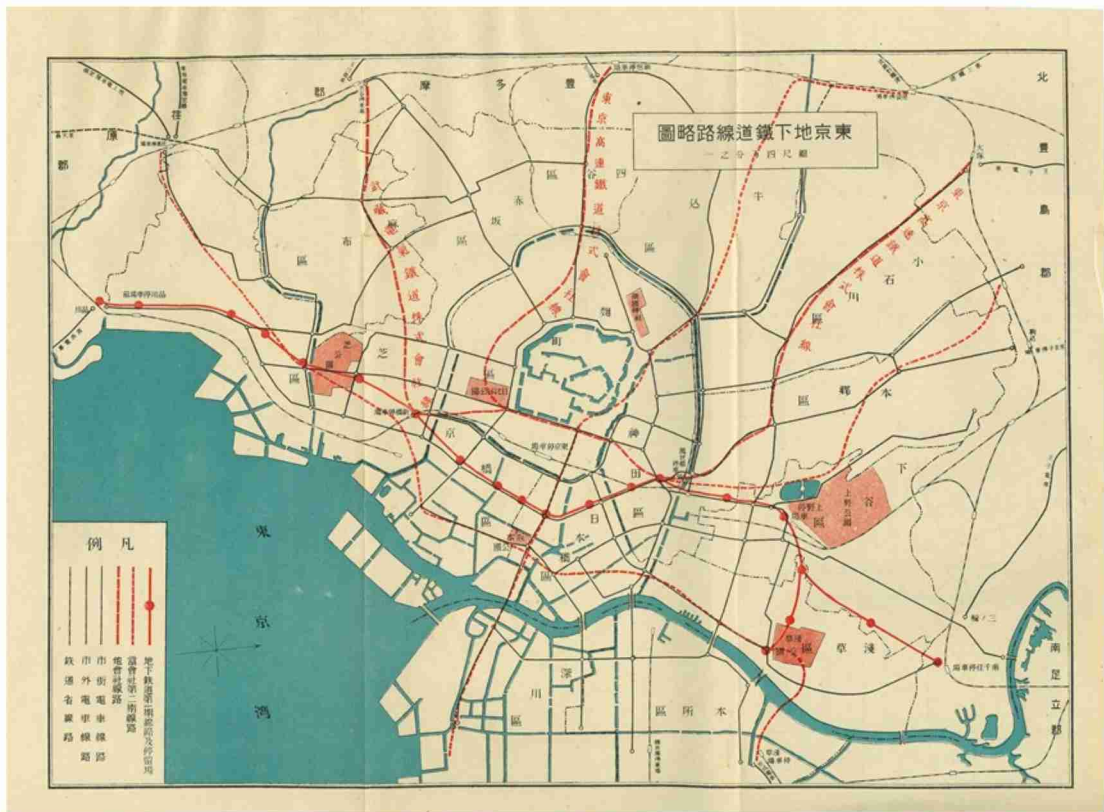


地下鉄の建設



「東京地下鉄道資料」

郊外電車は基本的に山手線のターミナル駅までにとどまり、都心内部の交通は主として路面電車である東京市電が担っていました。バスやタクシーの利用も広がりつつありましたが、郊外の発展とともに利用客が増え続けたため、市電は混雑した状態が慢性化していました。こうした中、建設が始まったのが地下鉄でした。

最初の地下鉄事業者となった東京地下鉄道は、大正12年（1923）に建設工事の許可を受けましたが、関東大震災の発生により計画の変更を迫られます。そこで浅草-上野間をまず先行して建設することとし、昭和2年（1927）に完成します。これが東洋初の地下鉄となりました。